



(地域活動部門)

令和 3 年 3 月 31 日

岡山県 大森 雅夫 様

フリガナ
団体名タケベチヨウデントウゲイノウヂンショウホソンカイ
建部町伝統芸能伝 承 保存会

所在地

連絡先

代表者役職・^{フリガナ}氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ☒ 地域課題解決 ☐ イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり ☐ オ その他
事業名	建部地域伝統芸能伝承事業
事業実施区域 (小学校区)	北区建部町 建部小学校区、竹枝小学校区、福渡小学校区
①事業実施内容	※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。 コロナウイルス感染症により、今年度の活動はそのほとんどで中止を余儀なくされた。 唯一、多自枯鴨神社棒遣い保存会では、感染防止に留意のうえ、秋の例祭で活動を実施、各氏子の家々を祓い清め、氏神に棒(棒遣い)を奉納(演舞)した。(別紙参考資料) また、中止となった各団体では、打ち合わせをかさね、次年度に向けてコロナ感染症対策の消耗品調達や活動に要する物品の確保を行い、次年度活動に向けての準備を行った。

② 解決を目指した課題	※少子高齢化が進む建部町地域において、令和元年度に引き続き次の課題を目指した。 【伝承活動】 ・中山間地域の課題である少子高齢化の中での事業を継続する。 ・この事業に参加している12の保存会が欠けることなく継続する。 ・各保存会で一人でも多くの小中高校生が参加し、後継者の育成を進める。 ・移住者にも保存会の意義を説明して、地域の事業に積極的に参加してもらえ環境づくりを行う。 【広報活動】 ・伝統芸能の意義・必要性をアピールするため、地域のイベント等に積極的に参加する。 ・地域外へ活動範囲を拡げ、積極的に事業の広報活動を進める。 【地域の活性化】 ・村廻り等の伝統的行事を継続することにより、地域の人・物・環境の実状を知り、地域のコミュニケーションの維持と活性化を目指す。
③ 目的・目標の達成状況	ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こしにより明らかになった課題等 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況 オ その他⇒定めた目標の達成状況 など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。 【伝承活動】 ・12団体が欠けることなく事業継続のための準備を進めた。 ・新たな小中高校生への参加については、コロナ禍により参加募集までには至らなかった。 【広報活動】 ・地域イベント等が悉く中止となり、地域外への活動はできなかった。 ・コロナ禍により、保存会活動のメインである秋季例大祭も中止となりPRの場を失った。 【地域の活性化】 ・例年、地元での理解と協力を維持していくために、それぞれの保存会が各戸を回り、玄関先でその家の五穀豊稔を祈念し、魍魎魍魎を祓い清めるため、獅子舞や棒遣いの演舞を行っている。こうした活動が保存会に参加する児童・生徒と地域の人々を結び、繋いでいる。また例大祭本番の神輿を担ぐ白装束の人たちとのふれあいも大切であるが、今年度はこれらのコミュニティ活動も休止となった。 ※主要課題の解決にあたっては、コロナウイルス感染症により主活動が出来ず、その殆どが目標達成には至らなかった。 しかし、当保存会の会員間では、役員会や臨時総会開催の中で、伝承保存活動に伴う演舞練習の重要性和、安全への配慮義務の必要性は共有され、今後も会員間で気軽に相談ができる体制が向上した。

④企画等の工夫と情報公開	※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。 【伝承活動】 ・例年、小中高校生の通常練習では、演舞の技や姿勢、諸道具の使い方など、伝承保存活動はできている。 ・秋季例大祭に限らず、各保存会の地区の行事や私的な行事等(例:結婚披露宴など)でも演舞する機会があれば積極的に参加し、地域の文化であることを示すことに心掛けている。 【広報活動】 ・めだかの学校での棒遣いの演舞、吉備津彦神社の元旦祭での獅子舞の演舞、御津獅子舞フェスタ参加などの事業は毎年行っており、広報活動として継続していく。 ・臨時総会場で広報看板についての議論が交わされた。 「建部祭り」で馬場として使用されている多目的駐車場への啓発看板の設置は検討できないかとの提案である。この多目的駐車場は「たけべ八幡温泉」の駐車場としても利用されている。ここへ啓発看板を設置することによって秋季例大祭以外に温泉施設利用など別の目的で訪れた人に広報することができ、設置に向けた検討を続けることとなっている。 ・今後は、ソーシャルネットワークサービスによる社会的な繋がりをより一層作り出すこと。FacebookやInstagram、Twitterなどの活用で、交流のなかった他人とのやりとりが生まれ、人と人を結ぶことができる。今後の取り組みに向け、ぜひ必要との認識を会員間で共有している。 【地域の活性化】 ・情報公開では、過去に地域協働フォーラムにおいて、「建部の伝承活動は、地域の伝統文化を伝承することを基に、地域を活性化し、暮らしやすいまちづくりを行うことである。」と発表している。これが全会員の共通する目的であり、活動の基本理念であることを共有している。
---------------------	---

※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。

令和元年度の事業報告書において記した次年度計画は次のとおりである。

今年度はコロナ禍によりその殆どが取り組めなかったため、引き続き次年度計画として見直しを行い掲げたい。

【伝承活動】

・ 少子高齢化は更に加速すると思われる。まずは当保存会の12団体が継続して活動できるよう相互の協力体制を整えるべく問題点を出し合い、共有する取り組みを行う。

・ 若年児童が参加したくなるような雰囲気づくりを行い、伝承保存活動が児童の成長に大切なものであるということを保護者にも理解・協力いただけるような働きかけの仕方を模索する。

・ イベント参加は、参加人数や時間もさることながら、多くの費用が必要となるため難しい面がある。少なくとも経費以上の収入が得られる事業が求められ、それらのイベント事業を模索する。

【広報活動】

・ 活動に関連した事業の県内での研修会や講演会、また関係イベント等に積極的に参加し、活動報告や演舞ができる機会を求める。

・ 保育園では今まででも、段ボール等で獅子頭をつくり、獅子舞の真似ごとをしている様子がうかがえた。過去に地域協働フォーラムにおいて「地元の学校で地域の文化を伝える教育をすべき。」と課題を挙げたこともあり、地元の小・中学校にもアプローチを行う。

・ 県内には、同様の伝承保存活動を行う団体もあるため、交流や協調した活動ができるよう情報収集とアプローチを行う。

【地域の活性化】

・ この事業は伝統芸能を伝承することで、地域のコミュニケーションを豊かにし、また地域を活性化し、暮らしやすい地域づくりに資することから、従来の形を崩すことなく、保存会ごとに、その地域に合った活動を展開していく。

12の保存会のうち、殆どの保存会で伝承事業を実施することはできなかった。しかし、今年度は児童・生徒への伝承活動ではなく、各保存会役員や指導者においては、コロナ禍での事業実施を模索する継続した話し合いから、保存活動の大切さや郷土を思う心の醸成に繋がったと思われる。

○事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）

【令和元年度実績報告時】

- ①活動が地域に与える効果の共有、協力体制の構築等の課題への取り組みに敬意を表す。
- ②本事業は伝承できる環境があり続けることが大切。子どもたちが興味をもち続ける環境を維持し続けて頂きたい。

【令和2年度助成申込時のご意見・コメント】

- ①引き続き周辺地域とのつながりを深めていってください。
- ②伝統継承により子どもたちが地域につながっていくことを期待しています。竹内流古武道も是非継承してください。
- ③連絡会議に支所、商工会、各種団体等も参加してもらっては。
- ④取り組んでいる人の思いや獅子舞への参加情報が見つかりにくかったので、情報発信に力を入れてみては。
- ⑤継承に苦慮しているところは他にもあるので、情報収集に目を向けてみては。
- ⑥子供を含む次世代への具体的な継承活動が乏しいと感じるので、その道を模索されることを期待します。
- ⑦成果を判断する「指標」はどう考えていますか。

【令和元年度意見に対して】

- ①②参加している子どもたちに厳しく教えるだけでなく、反省会(親睦会)の開催や、建部まつり参加団体では、他の獅子舞・棒遣いや神輿を見学できる自由時間を与えるなど、今後も楽しく興味が持てるよう創意工夫したい。

【令和2年度意見に対して】

- ①近隣地域(建部など)とのつながりを深めていきたいと考えています。
- ②子どもたちの郷土愛を育む活動にしていきたいと考えています。竹内流も「棒遣いの舞」にて継承しています。
- ③④⑤コロナ禍により、活動のメインである本番活動の例大祭が中止となり、感染防止という傾向から、活動に向けた啓発や諸準備もなくなったことから、ほとんどの取り組みはできなかった。しかし、来年度に向けての臨時総会等で情報発信に向けての議論は続けている。可能であるならば、各保存会の会員の中で Facebook や Twitter、Instagram などに興味や得意な人を抽出し、保存会の活動だけでなく、保存継承している備品や神社など、活動に結び付くものをなんでも取り上げてもらうよう働きかけたい。
- ⑥同様の活動地域である御津地域などと、具体的な継承活動の道を模索していきます。
- ⑦成果の指標は数値では難しいところがあり、検討をしていますが、各年度の演舞の継承ができたかどうかの一つ指標でも考えています。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- I できた
 - II おおむねできた
 - III 一部できなかった
 - IV まったくできなかった
 - V 改善意見がなかった
- その他
コロナ禍で殆どできなかった

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
令和2年5月24日	役員会（令和元年度事業報告・決算、令和2年度事業計画・予算、役員改選について協議）
6月28日	総 会（令和元年度事業報告・決算、令和2年度事業計画・予算、役員改選について審議）
7月18日	保存会会長事務引継ぎ
7月26日	神社総代より「建部祭り」中止の連絡 → 神事のみ執り行う
8月 1日	臨時総会役員会
8月23日	臨時総会(コロナ禍における今年度の活動予定、区づくり事業、団体育成事業について)
9月 6日	【参考例】中田上之町魁組神楽保存会では、児童・生徒を招集し、コロナ禍による例大祭の中止を説明。1年間活動が空くことから、演舞や囃子を忘れることなく、自主練習用として「獅子舞活動 DVD」を全員に配布した。
10月10日	【宵祭り】多自枯鴨神社棒遣い保存会では、コロナに留意のうえ、棒遣いが各氏子を祓い清めて廻った。
10月11日	【建部祭り例大祭】神事のみ執り行われた。
11月17日	建部町文化祭が中止された。 (福渡八幡神社神楽保存会が出演予定であった)
12月19日	臨時総会役員会（コロナ感染症対策支援金、令和2年度区づくり事業について、令和3年度区づくり事業の申込申請について協議）
令和3年1月 5日	区づくり事業について、会長及び会計で連絡調整
1月16日	臨時総会（コロナ感染症対策支援金、令和2年度区づくり事業について、令和3年度区づくり事業の申込申請について審議）
1月18日	令和3年度区づくり推進事業助成申込書を提出

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	440,000	129,800	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	438,000	129,000	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入	2,000	986	
計	880,000	259,786	

◆ 支 出

単位:円

費 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	468,000	114,714	草履・足袋・用紙・インク代
②食糧費	44,000	6,580	お茶・ジュース(練習・会議用)
③印刷製本費	4,000	7,040	コピー代
④燃料費	1,000	0	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	2,000	7,182	切手代
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	161,000	80,570	クリーニング代(袴・帯)
⑨使用料・賃借料	10,000	3,900	会場使用料
⑩原材料費	121,000	30,800	布代
⑪委託料	0	0	
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	66,000	9,000	指導者謝金
⑭保険料	3,000	0	
⑮旅費	0	0	
⑯その他	0	0	
計	880,000	259,786	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。